(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和４年５月２６日　　企業･団体名：株式会社ICU

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･雇用条件、労働環境において性別や年齢などによる差別がないことを確認しており、体制整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ･毎月個人面談の機会を設けており、相談しやすい体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･仕事と子育ての両立に向けて、高知県ワークライフバランス推進企業認証制度における次世代育成支援部門の認証を取得している。 ･小学校入学前の子どもがいる従業員には短時間勤務の制度を設けており、利用実績もある。 ･育児休業規定、介護休業規定を設けている。 ･働き方改革実現に向けて、社員の多能工化を推進している。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･取引先の外国人労働者に対して適切に対応し、差別がないことを確認している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･感染症対策として、体温計、手指消毒用アルコール、マスク設置、手洗いうがいの徹底等の対策を行い、衛生管理方法について周知している。 ･従業員のデスクの間隔を空けており、1m以上の距離を取っている。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･メンタルヘルスに対応した休職規程を整備している。 ･毎月個人面談の機会を設けており、相談しやすい体制を整備している。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･時短勤務やテレワークなど、多様性を尊重した社内制度を設けている。 ･社員の性別･年齢は多様であり、女性や高齢者など多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･会社が指定した資格について、資格取得の報奨金制度を設けている。 ･社内におけるIT人材の育成を進めている。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･同一労働同一賃金の規定を設けており、適切に実施している。 ･働き方改革関連法など、関係法規の内容を理解している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている。 ･高知県ワークライフバランス認証制度における健康経営部門の認証を取得している。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･ウェブ会議を積極的に導入している。 ･対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している。 ･事務所内に空気清浄機を複数台設置し、ウイルス対策を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･社内システムのクラウド化を推進している。 ･テレワークで勤務ができる設備の導入を推進している。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		･廃棄物は行政の分別回収に沿って適切に処理している。 ･使用済みバッテリーは、メーカーに返却し、再処理を依頼している。											11.6	12		14			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		･事業所内照明器具はすべてLED化されている。 ･未使用の電気を消灯するなどの啓蒙を行っている。 ･社用車のハイブリッド車の導入を推進している。							7.3						13				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・クールビズ・ウォームビズを導入し、エアコン使用の抑制に取り組んでいる。 ・サーキュレーターや加湿器・除湿機などを併用し、エアコン使用の抑制に取り組んでいる。 ・事業所近隣への訪問は徒歩や自転車の利用を推奨している。							7.2 7.3					12	13				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・【該当なし】業務においては法令で規制されている有害化学物質を使用していない。			3.9			6.3					12	12					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・グリーン製品など環境に配慮した製品を優先的に購入している。 ・事業活動において、生物多様性に対する影響が少ないことを社内で確認している。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・裏紙の利用を促進し、紙の使用量を削減する。 ・古紙は再生紙用の事業者に処理を依頼している。 ・缶、ビン、ペットボトルについてリサイクル回収ボックスを利用している。												13		14			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	13	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													13					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●								7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職や贈収賄の禁止等を含む法令遵守を社員に周知している。 ・顧客との取引においては契約書を作成し、管理を行っている。 ・代金の受領は銀行口座振り込みなど、第三者の記録に残る方法で受領するように徹底している。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として法令を遵守した公正な取引に努め、全従業員に向けその重要性を発信している。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・契約書にて知的財産の権利の所有を明確にしており、トラブルを防止している。 ・業務委託先とも契約書を交わすことで、権利の所在を明確にしている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報の保護に関する社内教育体制を構築している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・サービス提供時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・顧客に提供するサーバーセキュリティについては、外部企業と連携のうえ、十分なセキュリティ措置を講じており、改善していく体制を構築している。			3.9									12					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・制作物の品質を担保するために、チェックリストを設けており、基準に適合しているかどうか確認を行っている。 ・業務プロセスの標準化を実施しており、品質のバラツキが発生しないように努めている。 ・顧客からのクレームが発生した場合には、社内で共有し、同様の問題が再度発生しないように、協議する体制を構築している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・グリーン製品など環境に配慮した製品を優先的に購入している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域の清掃活動に参加している。 ・地域の中小企業者が事業を持続的に行えるよう、経営計画書の作成を支援している。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●					4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●									8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・法令厳守(コンプライアンス)の重要性を再認識し、今後もこの方向性を継続し、またこれに努める。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明・共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・代表取締役が責任者である。 ・地域社会への貢献と責任を経営指針に明文化し、全社員に示している。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客から受託した事業の完了後も定期的に事業の影響を確認し、顧客との双方向のコミュニケーションに努めている。 ・利害関係者との対話により自社の及ぼす影響を把握している。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●																	16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・事業活動におけるリスクの特定・分析・評価ができる人材の育成制度を整備している。 ・不正アクセス等の対策として、全従業員にパスワード等管理のためのソフトウェア製品を支給している。																16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●										9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・災害に対応する保険に加入している。 ・事前防災対策として避難用品の常備をしている。 ・データのクラウド化を実施しており、事業継続が可能な体制を構築している。 ・【予定】自社周辺のハザードマップや避難経路を作成・周知する。 ・【予定】事業継続計画（BCP）を策定する。				4							12		13			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●		1.5		3	4						10	12		13			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・【予定】朝礼等において、SDGsについての情報提供や啓蒙を行う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・高知県が実施している、UIターン者の就職に関する事業に登録している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						